

～この夏、行われた主な行事の紹介です～

**水生生物調査**

横山小学校、福原中部小学校、最上川を愛する町民会議・エジソン・ピカソクラブの皆さんによって最上川・丹生川の水生生物調査を行いました。川の中にすむ虫（指標生物）によって川のきれいさの程度を知ることができます。実際に虫を捕まえ、観察、その後、薬品を使用し、pH と COD（科学的酸素要求量）を調べました。



調査結果については、9月に行う、駒籠小学校の皆さんとの調査の終了後、次回の広報誌にて報告したいと思います。



昔はもっと大きな虫がたくさんいたんだよ、と聞いた子供達は、汚れてきている最上川にがっかりしていた様子です。これを機会に川に興味を持っていただき、一人一人がきれいな最上川を守るといふ、意識をさらに高めていってほしいと思います。



**河川愛護団体表彰式**

河川の美化・愛護運動に顕著な功績のあった民間の団体又は個人に対する表彰が7月26日、新庄河川事務所において行われました。

大石田出張所管内からは、永年にわたり水生生物調査にご協力頂いた事に対する感謝として、駒籠小学校に局長表彰、福原中部小学校に事務所長表彰が贈られました。



**一日河川パトロール**

7月28日、大石田第一中学校より5名（生徒4名・先生1名）と、鮭川・鳥越管内の河川愛護モニターさんの参加で一日河川パトロールを行いました。

午前中は主に管内の各施設の点検・徒歩による巡視。午後からは船による川側からの点検、その後検討会を行いました。



## 河川安全利用点検を行いました

7月13日に警察署、消防署、県・市・町等の関係機関の皆さんと、河川の点検を行いました。

今回は、夏休み・花火大会と人がたくさん出入りする、大石田船着場～特殊堤～下河原公園・川前船着場・丹生川河川公園等を中心に、危険な箇所はないか、不審物はないかなど、幾つかの項目に分けて点検しました。

その後、検討会を行い、たくさんの御意見を頂きました。現在、改善できる点から対応しております。右記の例のほかにも、危険と思われる所等は防護柵をつけるなどの改善を終了しております。

### 改善例①

川前船着場は柵がない上に、水深が深く、転落すると危険という意見があったため、注意を促す看板を設置しました。



### 改善例②



積雪等で壊れたプランターの修繕を行いました。



## 新しい工事が始まります！

### 名木沢地区導水管敷設工事

[請負者:大山建設(株)]

### 最上川中流名木沢地区操作室新築工事

[請負者:(株)沼澤工務店]

### 最上川中流名木沢地区ポンプ設備電気工事

[請負者:神鋼電機(株)]

### 最上川中流名木沢地区ポンプ設備機械工事

[請負者:(株)電業社機械製作所]

上記工事は昨年度より行われている名木沢地区消流雪揚水事業の一環として行われるものです。

最上川から水をくみ上げる施設は今年度中で完成させ、暫定通水を行う予定であります。

一部市道において片側交互通行や、大型車の出入りなど、地域の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解・ご協力お願いいたします。

お困りな点がございましたら、現場代理人、もしくは出張所までご連絡ください。



## 内水排除作業訓練を実施しました

6月15.16日に、丹生川において、実際に排水ポンプ車・照明車を使用し、内水被害が起きた時、いかに迅速に出動・設置・作業できるか訓練を行いました。

今年は、8月現在において大きな内水被害の報告は入っていませんが、万が一に備え、このような訓練を行っています。



### 内水(ないずい)被害とは・・・

大雨が続き、最上川の水位が上がると、堤防で守られた住宅地や田畑(堤内)を流れる小河川に水が逆流します。これを防止するために、ゲートを閉じるのですが、洪水が続き、閉鎖し続けると堤内の水は行き場を失い、たまって浸水します。これを内水被害といいます。

この水を排除するために、『排水ポンプ車』が活躍します！！

大石田出張所の災害対策車ステーションには、この排水ポンプ車が2台、夜間作業のための照明車が1台、待機しています。



昨年7月の出水時の内水排除作業の様子



ご意見・ご感想などありましたら、お気軽にご連絡ください

### 国土交通省 新庄河川事務所 大石田出張所

〒999-4113

北村山郡大石田町大字今宿字鷺の原466-2  
TEL 0237-35-2024 FAX 0237-35-2354